

施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 青少年女性センター (福祉センター内)		開館時間 午前9時～午後10時		
所在地	〒270-1415 白井市清戸766-1	併設施設	白井市老人福祉センター 白井市就労継続支援B型事業所 みのり	
TEL	047-492-2022	FAX	047-446-2021	
メール	fukushi-center@bz04.plala.or.jp			
休館日	日曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	65台	
職員構成 30年4月現在	センター長1名 事務職1名 (非)事務職2名 用務員1名 合計5名 (老人福祉センター常務兼務)			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備	
	研修室	36名	250円	ビデオ・テレビ・ピアノ 机12台・椅子36脚
	会議室	36名	250円	机12台・椅子36脚
	調理室	36名	720円	調理台6台・椅子36脚
	レクリエーション ホール	139名	970円	バトミントンコート2面 バレーボール1面・卓球台
貸し出し 可能備品				

平成31年度 公民館等団体別利用状況 (青少年女性センター)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	8	90	45	480	23	226	14	155	11	237	5	30	106	1,218
5	4	15	39	374	20	213	14	126	39	354	9	14	125	1,096
6	5	99	45	488	19	164	12	80	38	435	6	10	125	1,276
7	2	42	49	612	19	159	14	95	41	461	7	7	132	1,376
8	2	17	41	428	12	109	10	79	21	383	8	16	94	1,032
9	3	40	43	483	16	146	12	80	24	492	10	17	108	1,258
10	2	12	37	439	18	169	14	111	30	386	12	17	113	1,134
11	0	0	40	455	18	156	15	94	38	466	9	9	120	1,180
12	1	9	43	448	19	187	12	100	17	169	6	6	98	919
1	1	15	31	331	12	107	10	86	12	161	7	10	73	710
2	0	0	43	443	10	86	10	79	13	154	8	8	84	770
3	32	366	45	456	11	102	5	45	4	30	16	54	113	1,053
合計	60	705	501	5,437	197	1,824	142	1,130	288	3,728	103	198	1,291	13,022

平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	413	3,115	28
会議室	266	2,146	23
調理室	45	572	7
レクリエーションホール	567	7,189	43
合計	1,291	13,022	

平成31年度 青少年女性センター 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

平成31年度 青少年女性センター 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・男女共同参画の推進と地域交流

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し悩みや不満を解消出来る機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 (2)	①市内の小学校を対象に、交流の場を設け仲間作りを推進する。 ②市内の小学校を対象に、体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④子どもの自立と家事参加を応援する。

成人教育 (3)	①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親やDV被害者の女性を優先し自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性居場所づくり。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、学ぶコミュニティーの場を提供する。
団体育成 (4)	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動を支援する。 ②対人関係が苦手で中々社会進出できない若い女性の自助グループを外に出る機会を与え社会参加の機会を提供する。

(3) 平成31年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・地域住民が集う場を提供すること、市民との連携事業

2. 青少年女性センター 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
家庭教育 (1)	子育て支援講座 (ハッピーマイル術)	①②	3回 16人
	おやこ体験講座 (おやこチャレンジ)	③	5回 36組
	お父さんと子どもの料理教室	②③	1回 18人
青少年教育 (2)	中高生向け体験学習 (文章が簡単に書けるようになる必見講座)	③	1回 12人
	中高生向け体験学習 (理系ナビ「光るタンパク質の不思議」)	③	1回 6人
	小学生向け体験講座 (わらべの集い)	①②	1回 34人
	小学生向け体験学習 (キッチンサイエンス)	②	2回 46人
	小学生向け (おうちシェフ)	④	3回 16人
成人教育 (3)	女性支援講座 (ストレスフリーライフ講座)	⑤	4回 16人
	女性支援講座 (女性のためのパソコン講座)	④	18回 18人

成人教育 (3)	女性支援講座 (就労のための起業講座)	④	5回	11人
団体育成 (4)	自助グループの育成 (こころのcafé)	②	7回	1人

(2) 講座以外に行った事業

- ・ふくしまつりの開催（サークルの成果発表の場）
- ・季節に合ったイベントの開催年5回（就労継続支援B型事業所みのりとの合同事業）
- ・自助グループ「パステル」の活動支援
- ・コミュニティーサロン「清戸の杜プチマルシェ」の開催
- ・白井フェミナス♡+（ハートプラス）の開催
- ・男女共同参画週間における周知・啓発活動
- ・居場所づくり「こころのcafé」の開催

(3) 情報の提供

- ・講座・行事（イベント）情報は、広報しろい、社協しろい、HP、facebookページにて情報提供
- ・各講座チラシを作成し、近隣スーパーや関係機関に配布、掲示
- ・情報誌「清戸の杜」の発行（年12回）
- ・就労に関する情報提供

(4) 施設の提供

- ・団体活動の発表や掲示等活動への協力を行う

講座・学級学習プログラム

講座名	子育て支援講座 ハッピースマイル術	
対象	子育て中の母親	
募集人数	15人	参加人数 16人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、核家族化、地域社会の変貌などが、子育てで家庭の孤立化、子育て環境の悪化を招いている。子育ての悩みを相談できる相手や、不安やストレスを解消できる場所があまりない。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 母親同士が交流する場を提供し、子育ての孤立化をなくす。 子育てに関する知識を高め、前向きで楽しい子育てをしてもらう。 悩みや不安を気軽に相談できる場所があることを知ってもらう。 子育てで疲れた心と体を癒しリフレッシュしてもらう。 	
学習期間	令和元年10月	回数 3回
学習場所	調理室、研修室、レクリエーションホール、娯楽室（保育）	
予算	総額： 50,000円 うち参加費負担金： 300円×15人 内訳：講師料50,000円	総額： 40,900円 うち参加費負担金： 100×11人 内訳：講師料 35,650円 その他事業費 5,250円
講師	食育指導士 鈴木真理先生 アンガーマネジメントファシリテーター 原田論貴子先生 JHA 日本グリーンハートセラピスト協会 宮内典子先生	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 小さいお子さんがいる母親も参加しやすいように保育付きにした。 15人、全日程参加可能な方優先の募集だったが、3回全部参加できない方がいたので、人数に満たない講座の参加は可能として受け付け、なるべく多くの方に受講してもらおうにした。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 以前、この講座から立ち上がったサークルに加入をする方もいて、母親同士のコミュニケーションの場とリフレッシュできる場を提供することができた。 今回の講座をきっかけに子育てに関する悩みを講師に相談している姿もあつたので、良いつながりを作ることができて良かった。 	
備考	保育ボランティア依頼 利用者5名	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	10月17日	4Kクッキング 「こねないハンバーグ」 講師のデモンストレーション見て調理のポイントを学ぶ。実際の調理は各自自宅で実習。 参加人数 11人	鈴木先生	・簡単においしい料理を作ることで、育児への負担を減らす。 ・レト食品にばかり頼らず、安全な食事を作ることので、健康で元気な子どもを育てる
2	10月25日	アンガーマネジメント ～怒りのコントロール方法を知って子どもと上手に向き合おう～ 参加人数 11人	原田先生	・子育てする上で最もストレスになる“怒り”の感情をコントロールする方法を学び、楽しいと思える子育てを目指す。
3	10月29日	骨盤エクササイズ&リンパストレッチ ～女性の健康な心身のためのセルフケア～ 参加人数 10人	宮内先生	自分でできるエクササイズを教わり、リフレッシュするとともに、体調を整えて健康な身体の維持を目指す

講座・学級学習プログラム

講座名	おやこチャレンジ		
対象	親子（未就学児以上）		
募集人数	44組	参加人数	36組
講座・学級開設の課題と目標	<p>・子育てをする期間は、仕事や生活に追われ子どもと一緒に何かをする時期は失われがちである。</p> <p>・なるべくお父さんが一緒に体験出来る内容を企画し、親子体験を通じて絆を深める。</p>		
学習期間	令和元年5月～2年3月	回数	4回
学習場所	会議室・LGV 船橋・レクリエーションホール		
予算	総額：75,000円 内訳 講師料 42,000円 その他事業費 33,000円	決算	総額：30,620円 内訳 講師料 30,000円 その他事業費 620円
講師	・森嶺雲 ・太田有里沙 ・和足哲也 ・林千春 ・船橋裕龍		
参加者等への指導・援助方法	親子で楽しく参加ができ、親子で一緒に過ごさっかかけを提供する。		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・アンケート結果から親子の時間をもて良かったや、親子講座だから気軽に参加できたなど親子講座を楽しみにしている方が多かった。 ・なるべくお父さんや男性の保護者が参加しやすい内容を計画し、子育てに加わってもらえるよう促したい。		
備考	※3月14日「ゴルフ体験をしよう」新型コロナウイルスの関係で開催中止		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月11日	親子で氏名、住所を綺麗に書く練習 講師が個別指導・添削する。 参加人数 11組	森先生	一番身近な文字を練習しながら親子のコミュニケーションを深める。
2	7月13日	親子ヨガ教室 参加人数 6組	太田先生	親子でヨガを行い、コミュニケーションを深める。
3	11月16日	親子でアクセサリー作りを体験する。 参加人数 10組	林先生	とんぼ玉をセンターにしてサイドをビーズを通して作るアクセサリー作りを親子で楽しみました。
4	1月18日	「キックボクシング体験教室」 ・パンチ、キックの基本動作を教わり、それを組み合わせたのシヤードボクシング練習 ・1組ずつ、講師とのキックミットトレーニング 参加人数 10組	船橋先生	親子で一緒にキックボクシングを体験することで、コミュニケーションを深める。 運動不足、ストレスを解消する。
5	3月14日	親子でゴルフを体験する ※新型コロナウイルスの為に中止	和足先生	親子でゴルフ体験を通じて、コミュニケーションを深める。

講座・学級学習プログラム

講座名	理系ナビ「光るタンパク質の不思議」		
対象	中学生、高校生		
募集人数	20人	参加人数	6人
講座・学級開設の課題と目標	<p>学校の限られた時間数の中では多様な理科実験はできず、子どもたちの理科離れが進んでいる。</p> <p>富岡製糸場と製糸遺産群が世界遺産に登録され、注目されているカイコの最先端研究開発やバイオテクノロジーについて学び、実際に自分で実験することにより理科に興味・関心を持ってもらう。</p>		
学習期間	令和元年8月	回数	1回
学習場所	調理室		
予算	総額：2,000円 内訳：食料費 2,000円	決算	総額：1,719円 内訳：講師、TA、ボランティア 昼食代 1,719円
講師	農研機構 生物機能利用研究部門 笹川由紀先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 実験の操作手順を間違えないように、ボランティアを依頼して各班の補助をしてもらった。 自由研究に活かせるよう、実験の様子を写真に撮りながら進めた。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 今回は参加人数が少なく、例年2人1組で行っている実験を全て1人で行ったので、緊張しつつも楽しむ様子が見られた。 実験結果が出た時の達成感があり、アンケートでは、普段できないことが経験できた。理科の実験も悪くない。楽しかった。好きになった。という回答が見られました。 		
備考	ボランティア 2人 農研機構 TA 1人		

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月13日	カイコの一生 遺伝子組換えカイコの実用化へ向けた取組み (講義) 光る繭から光るタンパク質を抽出する (実験)	笹川先生	カイコの繭糸の新しい活用方法として期待されている遺伝子組換えカイコの最先端の研究開発やバイオテクノロジーについて学ぶ カイコのまゆからつくられるものを紹介 実験に必要な道具の使い方を学ぶ 蛍光タンパク質が繭糸のどの部分に含まれているのかを予想し、実験をして確認をする
		光るタンパク質だけを取り出す (実験) タンパク質の性質を調べてみよう タンパク質の「変性」 (実験) 光る繭糸の開発とタンパク質の変性の関係 緑色蛍光タンパク質 (講義)	笹川先生	「疎水クロマトグラフィ」という方法で、混ざり物から光るタンパク質(GFP)だけを取り出す 光る層の位置を確認する タンパク質に酸を加えるとどのように変性するのか予想する 実験をして確認 GFPタンパク質が、どのように使われているのか、どんなことに役立っているのかを学習する。
		(実験・体験) 参加人数6人		

講座・学級学習プログラム

講座名	文章が簡単に書けるようになる必見講座		
対象	中・高生		
募集人数	15人	参加人数	12人
講座・学級開設の課題と目標	<p>講座・学級開設の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を書くのが苦手、思っていることが文章にできない人が多い。 考える作業と書く作業は別に考え、文書を書く目的を常に意識し、それには意見(主張)と根拠(理由)が必要であることも意識する。 設け図のルールを覚える。 		
学習期間	令和元年8月14日	回数	1回
学習場所	会議室		
予算	総額：10,000円 内訳 講師料10,000円	決算	総額：3,295円 内訳 講師昼食代 537円 講師料交通費 2,758円
講師	成川由理先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 文章が書けた、書けないの評価はしない。 		
備考	<p>講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> やはりほとんどの参加者は、文章を書くのが苦手なようだった。書き方のコツを教えるだけで、苦手意識がなくなり、原稿用紙に向き合っていたので、成果を感じた。 		

学習報告

No	月日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月14日	<p>講師の書いたビフォー、アフターの文章を見せよう。課題を出し、以下の設け図でまず考えてみる。</p> <p>Step1 意見 Step2 その理由 Step3 事例 Step4 意見(やるべき事)</p> <p>参加人数12人</p>	成川先生	<p>社会に出てから一番必要なことは、コミュニケーション力である。</p> <p>文章を書くには、まずコミュニケーション能力も必要となる。</p> <p>いろいろな情報を知っていることで、知識豊富な情報があふれ出し、文章を組み立てる上でも、とても重要である。そして、文章を書くコツは、整理してから書く。</p> <p>文書は作業と同じであることを伝える。</p>

講座・学級学習プログラム

講座名	わらべの集い	
対象	市内在住の小学生	
募集人数	30人	参加人数 34人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・学校区以外の小学生達の交流は、機会がないと交流が難しい。また長期的な夏休みは、身近な交流で限定されてしまう。</p> <p>・地域の小学生を対象に仲間づくりや道徳心を養う。</p> <p>・交流する機会を与え、体験学習を通じて仲間づくりを広げる。</p>	
学習期間	令和元年8月6日	回数 1回
学習場所	青少年女性センター研修室、会議室、レクリエーションホール	
予算	総額：25,000円 ※うち参加者負担金：500円×30人 内訳 講師料10,000円 その他事業費 15,000円	総額：28,000円 ※うち参加者負担金：500円×34人 内訳 講師料10,000円 その他事業費 17,000円
講師	千葉県印西警察移動交番の皆さん 県警交通総務課の皆さん 日本臨床美術協会 臨床美術士 柏木 美和子先生、進藤 幸枝先生	
参加者等への指導・援助方法	参加者等へのかかり多いため講師に相談して増員した。部屋の移動が伴うため、職員・ボランティアが協力し進化した。 暑さの厳しい時期なので、水分補給を十分して貰い、熱中症に気をつけた。	
備考	講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） 午前の講座では、普段なかなか体験できないことに興味深く取り組めた。 午後は、各人の発想を大事にしつつ楽しみながら制作を行うことができた。 1日を通じて班行動で動く中で、高学年のリーダーを中心に低学年をサポートするような形で協力ができた。	

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月6日	・交通安全講話 ・『鑑識活動体験・捜査似顔絵』 ・パトカー・白バイ・移動交番試乗体験 参加人数 34人	印西警察移動交番・千葉県警鑑識係の皆さん計11名	警察活動の中でも子どもたちが興味を持つ鑑識活動を通して身近な防犯・交通安全への意識を高める。
		『ブラック段ボールアート』 パステルとはさみを使って黒く塗った段ボールを立体的に組み合わせてオブジェを作ります。	柏木先生 進藤先生	制約は設けず、自由な発想で楽しみながら取り組める機会を持つ。
		交流会 (ドッジボール・ブチデザートタイム)	協力) ボランティア	レク活動を通じて、子どもたちの交流と仲間意識・仲間づくりを推進する。

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月26日 午前・午後	①3色のカラーマジックケーキを作る。 ・ケーキのベースとなる生地を作る。 ・ベースの生地以外に色が変わ化するブルーベリージャムを加えたものと、ブルーベリージャム+レモン汁を加えたものの、計3色になるようにする。 ・カップに3色の生地を入れて焼く。 ②実験。 紫芋の溶液を使用し、身の回りにある溶液の性質を調べる。 ・紫芋の芋汁を作る。 ・その溶液を使用し、重曹や、粉石けん等の性質について学ぶ。 参加人数48人	佐々先生	ブルーベリージャムに含まれるアントシアニンについて学ぶ。ケーキの作りながら溶液の変化を目で確認する。 身近な食品や生活用品を使用して理科実験ができることを知ってもらう。 (酸性・アルカリ性、pHについて)

講座・学級学習プログラム

講座名	キッチンサイエンス	
対象	市内在住の小学生とその保護者	
募集人数	50人	参加人数 46人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の理科の授業において実験の数が減り理科離れが進んでいる。 ・普段の生活の中にも理科に関係することが多々ある事を知らない子どもが多い。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食品を使用し理科の面白さは学校の授業だけでなく自宅の台所等にもあることを伝え、理科への関心や興味を高める。 	
学習期間	令和元年7月26日	回数 2回
学習場所	調理室	
予算	総額：23,000円 ※うち参加者負担金：200円×50人 内訳：講師料10,000円 その他事業費13,000円	総額：17,168円 ※うち参加者負担金：200円×48人 内訳：講師料10,000円 その他事業費7,168円
講師	NPO法人くらしとパイオプラザ21 常務理事 佐々義子先生	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーブルで3色のケーキを作り、色の変化を観察した。また、実験では紫芋で溶液の性質を調べる実験を行った。各班に助手が1名ずつ付き、講座をスムーズに出来る様に実験器具、調理器具の取り扱いに注意を払った。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・理科実験の中にケーキ作りが含まれている事で、子どもたちは理科実験に興味や関心を示し、楽しく学んでいた。 	
リトマス紙の実験では色の変化を見て楽しんでいった。		
備考	ボランティア3名	

講座・学級学習プログラム

講座名	おうちシェフ		
対象	小学3年生から6年生		
募集人数	15人	参加人数	16人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・小学生になると、共働きの家庭が増え留守番をする機会が多くなるので、自分からすすんでお手伝いができるようにならないといけない。</p> <p>・子ども達自身がお飯を作り、お手伝いができるようにする。自分のことは自分でできるよう、また食育に繋がられるよう促す。</p>		
学習期間	令和元年7月～8月	回数	3回
学習場所	調理室		
予算	総額：43,500円 ※うち参加者負担金 1,500円×15人 内訳 講師料21,000円 その他事業費 22,500円	決算	総額：45,000円 ※うち参加者負担金 1,500円×16人 内訳 講師料21,000円 その他事業費 24,000円
講師	吉原美智子先生		
参加者等への指導・援助方法	・調理から片付けまでを自分で最初から最後まで行う。		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・料理に興味を持ち、調理方法を身に付けることができた。		
備考	ボランティア 7月31日5人、8月7日4人、8月21日4人		

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月31日	①簡単シューシー餃子 ②黒砂糖寒天 参加人数14人	吉原先生	学習について興味を持ってもらうこと。 自分で料理や片付けを進んで行う意欲を身につける。
2	8月7日	①ロコモコ ②かぼちやのポタージュ 参加人数16人		
3	8月21日	①ピザ ②ミネストローネスープ 参加人数16人		

講座・学級学習プログラム

講座名	就労のためのパソコン講座	
対象	再就職をめざす女性（母子家庭やDV被害者を優先で無料）	
募集人数	60人	参加人数 18人
講座・学級開設の課題と目標	<p>就労に至る様々な支援の中で、就労に必要なパソコン技術は、どこまでできれば、自信を持てるものなのか、よく問われる事です。また、パソコンが出来ないという理由で、つきたい職を諦めている人も少なくありません。技術を身に付ける機会を提供する事は重要な課題と言えます。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立、就労に向けた一つの手段としてパソコンの技術を学び、自信に繋がります。 ・就労の情報等の提供や受講者同士の交流の場を提供する。 	
学習期間	令和元年5月～7月	回数 18回
学習場所	青少年女性センター2階会議室	
予算	総額：200,880円 ※うち参加者負担金 180,000円 内訳 講師料137,880円 その他事業費 63,000円	総額：83,880円 ※うち参加者負担金 0円 内訳 講師料 83,880円 その他事業費 0円
講師	大平久美子先生	
参加者等への指導・援助方法	グループ形式にて指導。	
テキスト内容	は、ビジネスで使う文書を例に指導することによりわかりやすく伝える。	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・講座終了後も継続してパソコンの利用を心掛け、日常的にパソコンを使って、少しでも触れる機会を作ってもらいたい。 	
備考		

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月28日 (平日コース)	ワード 基本構成の説明ソフトウエア・ハードウエア マウスの基本操作・ポイント・クリック・ダブルクリック・ドラッグ・右クリック Windows 7の終了 文字入力 入力の手順の説明 変換機能について 参加人数4人	大平先生	パソコンを何に使用したいのかという自分のやりたいことを実現させるツールであることを理解してもらう ビジネスでパソコンをしようする方はローマ字入力で覚えてもらう 起動の方法から、データの入力・訂正方法など、エクセルの基本操作に慣れること
2		エクセル 基本操作の説明 データ入力・手順・移動・文字入力・数値の入力・計算式の入力 データの訂正 ブックの操作・範囲選択・練習 参加人数3人	大平先生	
3	5月29日 (平日コース)	ワード基本操作 画面構成について 画面の操作 文書ファイルからのワードの起動 編集・・・選択 選択して文字の編集 選択して操作命令 保存・・・上書き保存 名前を付けて保存 印刷 練習問題 参加人数3人	大平先生	実務で使用するよ うに、ワードに触れ てもらおうというこ とを第一の目的と した 起動・選択・保存・ 開くという操作か ら「おもしろい」と 興味を持ってもら い、プリントアウト することで、実務ま での流れを体験し、 達成感を味わって もらう

4	エクセル表作成1 表の作成 画面構成について 売上表の作成 文字列の入力・連続データの 入力 数値の入力・関数の入力 (SUM関数) 計算式のコピー・一度に合計 を求める 関数の入力(AVERAGE関数) 参加人数3人	大平先生	白紙の状態から、効 率よくデータを入 力し、計算式を設定 し、編集作業を行っ て表を作成する
5	5月30日 (平日コース) 前日ワードの総復習 ワードビジネス文書の作成1 作成の手順説明 効率的な入力・日付の挿入・ あいさつ文の入力・オートフ ォーマット 段落書式の設定・段落の配 置・行間・インデント・箇条 書きと段落番号 文字書式・フォントの変更・ 文字飾り 印刷・印刷イメージの確認・ 印刷前の修正(ページ設定)・ 印刷 練習問題 参加人数3人	大平先生	ワードの基本的な 機能を紹介しなが ら簡単な文書作成 を目指す。 範囲選択という考 えをしつかり身に つけてもらう
6	ビジネスメール 電子メールの仕組み メールの利点と欠点 メール作成 メールの送受信、返信 アドレス校の登録 ビジネスメールのマナー メールの書き方・署名やC C・BCC等 参加人数3人	大平先生	表に行や列を挿入 したり、表をコピー ／移動して表を効 率よく活用する方 法を学ぶ 印刷するときのテ クニックについて も理解をする。

7	5月31日 (平日コース) ワードビジネス文書2 移動とコピー、貼り付けオペ ション 表の挿入と削除 表内の文字入力 表の編集 クリップアートの挿入、編集 練習問題(職務経歴書) 参加人数3人	大平先生	ワードで表を作成 し、簡単な職務経歴 書を作ることで きる技能を身につ け、自分で作成した 達成感を意識させ る。
8	前日エクセルの総復習 エクセル表作成2 表の活用・行の挿入／削除・ 表の移動／コピー／編集・効 率の良いデータの入力 印刷・イメージの確認・ペー ジ設定 練習問題 参加人数3人	大平先生	ビジネスで使用す るメールとはの基 本から、気を付けな ければいけない点 等を解説し、日常メ ールとの違いを意 識させる より効果的なビジ ネス文書を作成で きるよう左記の機 能を学ぶ。
9	6月20日 (ステップア ップワード) タブの設定 スタイルの作成 アウトライン機能について 参加人数1人	大平先生	ビジネスシーンで よりワード、エクセ ルの機能を活用す ることを学ぶ。
10	6月20日 (ステップア ップエクセル) 集計ワークシートの挿入・削 除・移動・コピー 3-D集計 グラフ作成 参加人数1人	大平先生	
11	6月21日 (ステップア ップワード) ヘッダーフッターの挿入編集 図形描画の作成 テンプレートの登録 参加人数1人	大平先生	
12	6月21日 (ステップア ップエクセル) 絶対セル参照 論理関数・関数の集計・統計 関数 データベース機能 リスト作成・並べ替え・ファイ ルター・集計 参加人数1人	大平先生	

13	7月3日 (活用コース ワード)	ワード 便利な設定について 図の活用 ・SmartArt グラフファイック ・図の挿入 ・ドロッピングキャッチ ・リンク設定 参加人数2人	大平先生	ステップアップコースに引き続きより機能説明を詳しくし、便利なテクニックを覚えてもらう
14	7月3日 (活用コース エクセル)	関数の利用 ・端数の処理 ・日付の計算 ・総計関数 テーブル設定 ・テーブルへの変換 ・テーブルスタイルの設定 ・ファイルの利用 ・集計行の表示 ・テーブルの変換 ・新しいテーブルの作成 参加人数2人	大平先生	
15	7月4日 (活用コース ワード)	表の活用 ・並べ替え ・タイトル行の挿入 ・表スタイルの活用 ・計算式の挿入 参加人数2人	大平先生	
16	7月4日 (活用コース エクセル)	便利な機能 ・条件付書式 ・入力規則 ・コメント ・ワークシートの保護 ・パスワード設定、ブックの保護 グラフの作成と編集 参加人数2人	大平先生	
17	7月5日 (活用コース ワード)	目次と索引 差し込み印刷 ・差し込み印刷の仕組み ・文書の宛名を差し込む ・ラベルに宛名を差し込む 参加人数2人	大平先生	

18	7月5日 (活用コース エクセル)	グラフの作成と編集 ・棒グラフ ・複合グラフ 複数ページの印刷 データの活用 参加人数2人	大平先生	
----	-------------------------	--	------	--

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	10月26日	①フライパンで焼くパン ②豚肉の甜麺醬炒め ③ココナッツミルグのデザート 参加人数 9人	吉原先生	お父さんと一緒に食について考え楽しく料理を学ぶ

講座・学級学習プログラム

講座名	お父さんと子どもの料理教室		
対象	小学生と父または祖父	参加人数	18人
募集人数	10組	参加人数	18人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・お父さんと子どもを対象に親子のふれあいを深める</p> <p>・お父さんも料理に関心を持ち、子どもと料理の楽しさやバランスの良い食事について学ぶ、調理方法を学ぶ</p>		
学習期間	令和元年10月26日	回数	1回
学習場所	調理室		
予算	総額：19,000円 ※うち参加者負担金 1,200円×10組 内訳 講師料7,000円 その他事業費 12,000円	決算	総額：17,800円 ※うち参加者負担金 1,200円×9組 内訳 講師料7,000円 その他事業費 10,800円
講師	吉原美智子先生		
参加者等への指導・援助方法	・先生より料理指導を受け、お父さんと調理を行う。 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）		
備考	・お父さんや祖父と子どもたちの講座を計画し、親子でふれあう機会を提供することができた。料理教室は参加しやすかった。		

講座・学級学習プログラム

講座名	ストレスフリーライブライブ講座		
対象	一般女性		
募集人数	15人	参加人数	16人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・ 毎日の生活の中で何らかのストレスを感じている女性が多い。そのストレスを発散できずにイライラしたり、気分が滅入ったり、体調を崩したりしている。</p> <p>・ 日常生活において様々なストレスをかかえている女性のために、気分転換の方法やストレスを解消できる内容を提示し、ストレスのない生活を始められるきっかけ作りをする。</p>		
学習期間	令和元年11月	回数	4回
学習場所	研修室、調理室、レクホール、倶楽室 (保育)		
予算	総額：56,000円 ※うち参加者負担金：1,300円×15人 内訳：講師料56,000円	総額：46,334円 ※うち参加者負担金：800円×13人 400円×11人 100円×12人 内訳：講師料38,140円 その他事業費 8,194円	講師 河野真理先生 日本防災士会 千葉県支部副部長 平山優子先生 運動健康指導士 根岸健一先生 市健康課 栄養士
参加者等への指導・援助方法	・女性ならではの悩みや関心事をテーマに講座を企画。 ・参加者同士がコミュニケーションをとりやすい雰囲気作りに努めた。 ・小さいお子さんがいる女性も参加しやすいように保育付きにした。		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	・アンケート結果より、4回の違う内容の講座の中に各々自分に合ったストレス解消法を見つけることが出来たようであった。また、「今まで知らなかったことを体験できて良かった。」「アロマの香りに癒された。」という回答も多くあり、ストレスフリーライブライブを始められるきっかけになる内容を提供できたと思う。 ・保育付きでゆっくり学べたこともストレス解消になったようであり、自分だけの時間を持つ大切さを感じた。		
備考	保育ボランティア依頼 利用者3名		

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	学習のねらい
1	11月5日	「心と身体に働きかけるアロマ」～ストレストメント作りとハンドトリートメント実習 参加人数13人 自己負担金 800円	河野先生	アロマの香りで癒されることによりストレス軽減や乱れた自律神経を整える 自宅で出来るハンドトリートメント方法を学ぶ
2	11月15日	女性の視点で考える防災「食と防災」～災害時こそいっしょのあたたかい食事を！～ 参加人数11人 自己負担金 400円	平山先生	災害時の状況や備えについて知り、食の重要性や調理方法を学ぶ
3	11月20日	「ストレスフリーな身体を作る美姿勢エクササイズ」 参加人数11人	根岸先生	全体の筋力をバランスよく整え、本来あるべき姿勢に改善する 疲れにくい体を作るためのトレーニング 法や疲労回復のためのストレッチ法を学ぶ
4	11月28日	自律神経を整える食習慣～楽しんで食事でもコロナも楽しんで！快適！～ 参加人数12人 自己負担金 100円	栄養士	腸の働きを良くし、自律神経のバランスを整えるために大切な食習慣について学び、朝食のレシピを教わる

講座・学級学習プログラム

講座名	女性のための起業講座	
対象	起業に関心のある女性、起業して間もない女性	
募集人数	15人	参加人数 11人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・再就職をめざす女性の就業が難しい状況にあり、働きたくても働けないと悩んでいる子育て中の女性がいる。また、子育てと家事の両立が困難</p> <p>・いきいきと社会の中で活躍できるよう、子育てや家事との両立を紹介し、自分の出来ることを職に活かしてみる。</p>	
学習期間	令和元年10月21日～11月9日	回数 5回
学習場所	会議室	
予算	総額：139,000円 ※うち参加者負担金(保育料) 3,200円 内訳 講師料 101,000円 その他事業費 38,000円	総額：121,750円 ※うち参加者負担金(保育料) 0円 内訳 講師料 120,000円 その他事業費 保育料1,750円
講師	株式会社PLUS-Y 永田洋子先生	
参加者等への指導・援助方法	・受講中のお子さんの同席はお断りをし、別に保育を付ける。 ・異業種の交流会などを紹介し、女性センターからの支援についてのご案内をした。	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	・起業を立ち上げている方も、これからという方も、講師のわかりやすい講義に大変満足されていた。 ・フェミナスハートプラスへの出展や清戸の杜プチマルシェの参加につながる人もいらっしやいました。	
備考	最終日をイベント日に重ねたことにより、出展に結び付くなど成果が顕著にみられた。	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	10月21日	女性のための起業・独立・開業の基礎知識 ・現在の起業の環境についての学び。 ・起業の夢を具体的なプランへの落とし込み。 ワーク：起業プランシート (参加人数 7人)	永田先生	学習のねらい 好きなコト、やりたいコトで稼ぐためのビジネスプランを考える。
2	10月24日	起業したい女性のための「お金」の話 ・起業の手続きや許認可・法律を学ぶ。 ・起業に関するお金について学ぶ。(参加人数 9人)	永田先生	起業の資金とマネープランを理解する。
3	10月28日	魅力を伝えるブランディングとプロモーション方法 ・ブランディングとプロモーションの基本。 ・自分の「強み」を見つけて磨こう。 ワーク：強み発見ワークシート (参加人数 6人)	永田先生	「強み」を磨いてセルフプロデュースする力をつける。
4	10月31日	聞き手の心をつかむプレゼンテーション ・プレゼンテーションの基本。 ・実際にプレゼンテーションをやってみよう。(参加人数 6名)	永田先生	共感を得る伝え方で味方や仲間を増やす。
5	11月9日	現場実習 白井フェミナスハートプラスへの参加 (参加人数 11名)	永田先生	

事業活動

事業名	清戸の杜プチマルシェ		
対象	どなたでも		
参加人数	ワークショップ10人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティが広がるきっかけが少なくなっている昨今、地域でもサロン等の開設が見直されている ・起業講座終了者の練習の機会の場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を通じてコミュニティの輪を広げ、多様な世代の集いの場の提供 ・さまざまなワンデーワークショップで、気軽に楽しめる内容を提供 ・平日はランチ&ワークショップ、土曜日はワークショップを楽しめるようにする 		
期間	平成31年4月～令和2年3月	回数	7回
場所	1階和café		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ提供は低価格で提供するため、ワンコインの価格設定とする。 ・コミュニティとして集える気軽さをアピールする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの広がりを参加者同士の交流やお客様との自然な会話から成果としてつながっていると感じる。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月18日	国産小麦とそせい糖のスコーン、焼き菓子、手作りガラスアークセサリー、天然発酵パン販売 (参加者8人)	食やワークショップを通じてのコミュニケーションづくり
2	6月15日	国産小麦とそせい糖のスコーン、焼き菓子の販売 若石リフレクソロジー、ハンドソープ 一 (参加者15人)	
3	7月20日	国産小麦とそせい糖のスコーンの販売 リフレクソロジー、アークセサリー作り 体験 (参加者15人)	
4	10月19日	国産小麦とそせい糖のスコーン、焼き菓子の販売 若石もみ、アークセサリー作りと体験 (参加者5人)	
5	12月21日	焼き菓子販売 アークセサリー作りと体験販売 (参加者15人)	
6	1月18日	焼き菓子の販売 アークセサリー、耳ツボ (参加者9人)	
7	3月14日	焼き菓子の販売 アークセサリー、ハワイアンロミロミ ※新型コロナウイルスの関係で中止	

事業活動

事業名	男女共同参画週間における周知・啓発活動	
対象	どなたでも	
参加人数		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識啓発および推進。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間を機会に、男女共同参画にかかわる書籍や資料、掲示物をとおりして男女共同の視点や意識、関心をもってもらおう。 	
期間	令和元年6月～9月	回数 1回
場所	1階風除室	
事業参加者等への配慮等		
<ul style="list-style-type: none"> ・センター入口を入ってすぐの場所（風除室）に掲示することにより、誰もが気軽にご覧いただくように配慮した。 		
事業の成果（課題や目標に対して）		
<ul style="list-style-type: none"> ・センターを利用される多くの人が、資料や掲示物をご覧いただいた。これを機会にわが事として関心をもっていただく仕組みづくりが検討課題である。 		
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月21日 ～ 9月27日	男女共同参画にかかわる書籍や資料、掲示物の展示。	男女共同参画への啓発及び実施。

事業活動

事業名	2019ふくしまつり	
対象	どなたでも	
参加人数	428人	
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 活動サークルの発表の成果の場の提供 地域福祉団体の福祉活動を知ってもらう 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と交流を深める。 福祉について、理解してもらうイベントにする 	
期間	令和元年 9月28日	回数 1回
場所	福祉センター館内	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 参加団体には、館内にある備品を提供する 参加者アンケートを実施し、ニーズを把握する。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者団体にとって負担となっていた準備作業を、館内の備品で対応するなど 事務局の方で各場所ごとに配置する等の対応をとることにより負担軽減となった。 青少年女性センター関係団体や障害者福祉事業所、高齢者疑似体験等、福祉活動の周知や体験を通して、福祉の理解につながってきている。 	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
	9月28日	～参加団体発表～ 手芸・陶芸・絵画等の展示。 サークル活動の発表や演奏や踊りの発表。 ワークショップや食べ物等の販売。 ～事務局事業～ 生かがい支援事業展示コーナー 桜台地区社協による事業内容紹介、コーナー販売、オープンニングセレモニー	福祉センター利用団体の成果発表や体験、地域福祉団体による福祉活動体験、販売等で地域住民との交流を深める。 福祉に対する理解を深めてもらう。

事業活動

事業名	こころのcafe
対象	15歳～35歳の独身女性で人とのコミュニケーションが苦手な人
参加人数	5名
事業の課題と目標	<p>・人とのコミュニケーションが苦手な引きこもり気味になっている若い独身女性が増えている、10代では登校拒否となり、就職をしたとしても離職を繰り返したり社会になじめない状況にある。また独身女性が無職と分類されず、家事手伝いとして、分類されているため、重要視されてきていないのが現状。</p> <p>・引きこもりにならないよう、外に出る機会をつくり、人とのコミュニケーションを取れるように同じ境遇の女性と自尊心を高めていく。</p>
期間	令和元年4月～令和2年3月
回数	7回
場所	会議室
事業参加者等への配慮等	<p>・講座で知った個々の情報は、終了したら人には話さない。ここを安全・安心な場とする。</p> <p>・参加がきっかけで、就労に繋がった人や、居場所が確保された人がおり、他者とのコミュニケーションをはかることで目標が明確となり、前進する原動力となっている。</p> <p>・体調を崩し参加は難しいが、電話やメールでつながることで前向きになる人もいるので、欠席の連絡であっても共有する時間を大事にしていく。</p>
備考	<p>・福祉就労につながり、来所されることが困難な状況になられた方が増えてきたため、メールのやりとりで不安の解消や悩みの共有をはかっている。</p>

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	学習のねらい
1	4月20日	近況報告、お菓子作り (参加人数0人)	外出の機会を作り、みんなと話をしながら、共有を深める。
2	5月25日	近況報告、グループワーク (参加人数0人)	
3	6月22日	近況報告、相談 (参加人数1人)	
4	7月27日	近況報告、相談 (参加人数0人)	
5	8月24日	近況報告、相談 (参加人数0人)	
6	10月19日	近況報告、相談 (参加人数0人)	
7	3月7日	近況報告、相談 ※新型コロナウイルスの関係で中止	

事業活動

事業名	2019白井フェミナスハートプラス		
対象	どなたでも		
参加人数	317人		
事業の課題と目標	<p>地域の活性化をするには、誰がターゲットになることで地域活性化につながるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性のこれからの生き方働き方を探す（見つけるための）ヒントになることがこれからは必要 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て中・働き盛りに20代から40代の女性を中心に多様な生き方について考える機会とする 女性起業家の出展を働き方の一つのロールモデルとして参考にしてもらう 女性起業家同士がともに学び合い、繋がりを作る機会とする 子育てや健康に悩む相談窓口として情報を提供する 		
期間	令和元年	11月 9日（土）	回数 1 回
場所	青少年女性センター		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 出展する起業家には、説明会を開き注意事項を伝えていった。 このイベントの趣旨を説明し理解してもらおうことで、イベントを盛り上げ、家族で来場しても楽しめるような内容や、休憩スペースを用意した。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 今年、例年と比べ来場者数がとても少なかった。原因として、学校の行事とかぶってしまった事や周知の仕方など今後対応が必要。 スタンラリーは、好評でイベント終了前にプレゼントも全て終了となったり、来場者さんも楽しかったや面白かったなどの声も聞かれた。 出展者さんもゆったりとできて良かったなどの意見もあった。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月9日	<p>事業起業家による出展</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性起業家による出展 体験型ワークショップ 17ブース 物品販売 9ブース 飲食販売 4ブース <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進講演会 <p>『人生を格上げしよう！～自分の良さを知り、自分の人生に自信を持つために～』</p> <p>ランクアップスタイル（株）</p> <p>（一社）格上げおしやれプランナー協会代表 富澤 理恵さんによる講演。</p>	<p>子育て中・働き盛りの20代から40代の女性を中心に多様な生き方について考える機会とする。</p> <p>女性起業家（起業を目指す女性含む）の出展を働き方の一つのロールモデルとして参考にする。</p> <p>女性起業家同士が共に学び合い、つながりをつくる場。</p>